

コミュニティ・
スクール春日東中
学校通信

「東風」

8月号

【住所】〒816-0821 春日市若葉台東1-41-1
【TEL】092-581-1109 【HP】http://kasugahj.jimdo.com/
令和2年8月24日 文責：教頭 柴田 みどり



【学校教育目標】 「人間力を培い、地域に貢献できる生徒」

- 【目指す生徒像】
- ① 学力や体力を伸ばす生徒（学力・体力の向上）
 - ② 将来の生き方や進路の実現を目指す生徒（未来志向力の向上）
 - ③ 社会のため人のために役立つ生徒（社会関係力の向上）

【**自**創**校**】
【**尊**健**造**】

校長の話 校長：山崎 明彦

『だから僕は練習するーホークス和田毅投手からの学びー！』

第3回コミュニティ協議会を開催しました！



7月9日（木）に15時半からコミュニティ協議会を開催いたしました。今回は前半に学校運営協議会の方々から授業参観をしていただき、その後、ご感想などをいただきました。その後、今後の地域行事や学校行事について主幹から説明を行い、2地区から地域の現状報告を受けました。次回の9月からは、コミュニティ推進委員会も再開し、地域行事についての確認の場を持つ予定です。三密に配慮しながら行う予定ですのでご協力よろしくをお願いいたします。



生徒会で取り組んだ感謝のメッセージカード



7月31日【金】に山崎校長、生徒会役員4名と生徒会担当教員2名で、井上市長、扇教育長のもとを訪れ、感謝のメッセージカードを渡しました。これは生徒会が「無事に登校できるのはコロナ禍でも皆のために働いてくれる人がいるからだ」と感謝のカードを呼びかけ、生徒一人一人が書いたメッセージを市役所や病院、警察署、消防署、スーパーなどに渡しているものです。この様子は、毎日新聞にも掲載されました。

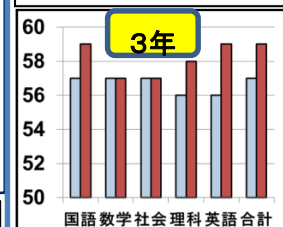
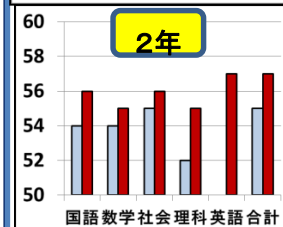
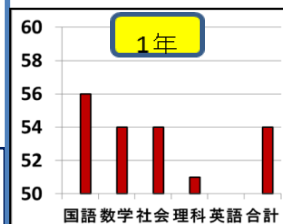
東中ホームページの校長日記にも日頃の活動の様子を掲載していますので、ぜひご覧ください。

夏休み 3年生オンライン授業



8月19、20日に3年生オンライン授業を実施しました。全学年向けに夏休みのYou Tube配信を行いました。3年生にはオンライン朝の会と教科配信をして夏休み明けの意識付けを行いました。西日本新聞やTVQ放送の取材もありました。

6月学力診断の結果ー青(左側)・昨年度、赤(右側)・今年度



今年度は、臨時休校期間から始まったので例年4月に実施する学力診断テストを6月に実施しました。県偏差値は1年は54、2年は57、3年については昨年度よりどの教科も数値を維持、もしくは向上させることができています。しかしながら、教科で比較していくと1年については理科、2年については数学、理科、3年については、数学、社会に力を入れていくことが必要であると考えます。感染拡大防止対策により、授業形態など制限される内容がありますが、ICTなどを最大限に活用し、これからも学力向上に努めていきたいと考えています。

短い夏休みが終わりました。コロナ感染予防の関係から、自由な行動が制限され、充実した生活を送ることが出来なかったと思います。しかし、みんな同じなんです。今は、みんなで困難の一つ一つを乗り越えていかなければなりません。この夏休み、一冊の本と出会いました。福岡ソフトバンクホークスの和田毅投手の著書『だから僕は練習するー天才たちに近づくための挑戦ー』という本です。その一節を紹介します。

『「ほかの選手と自分の違いを1つだけあげてみる」と言われれば、僕はおそらく「練習」と答えるだろう。これは単に「とにかくたくさん、誰よりもガムシャラに努力してきました！」というだけのことではない。僕は、いま、「考えて練習すること」をこころがけている。丁寧に考えて、考えて、考え抜いたことを、淡々とやり続けている。もちろん、ガムシャラに練習することを否定するつもりはないし、僕自身も、何も考えずにひたすら練習にひたすら練習に打ち込んだ時期はある。しかし、「平凡な野球少年」を天才レベルに近づけてくれたのは、ほかでもなく「練習」だった。それだけは間違いないし、今でも僕はそれのための「挑戦」を続けている。～中略～2018シーズンから2019シーズンの半ばまで肩を負傷していた僕は、長期間にわたって戦線を離脱することになった。17年の現役生活を通じて、これほど精神的に過酷な時期はなかったと断言できる。それでも、出口の見えないケガの日々から抜け出し、2019年日本シリーズの優勝を決めた日に勝利投手になるという幸運に恵まれたのは、やはり僕が「考えて練習する投手」だったからではないかと思う。もしも僕が「何も考えなくても、いきなりいい球が投げられてしまう天才」だったとしたら、僕はあんまり素晴らしい舞台にはもう一度立てなかつただろう。「練習」が自分を成長させ、「考えながら練習すること」があったからこそ今の自分が点あると思う。～』

来年2月で40歳を迎える和田投手、40歳でプロ野球の現役として投げ続ける投手はそうはいません。和田投手を支えてきたものが「練習」であり、しかも、ただの練習ではなく「考えながら練習すること」であつたと述べられています。

和田投手のこの生き方を自分自身の生き方に重ねて考えてみませんか？勉強にしても部活動にしても、毎日の努力が大切であるというところはみんな変わっていません。でもその努力は、「がむしゃらな努力」も大切だけど「考えながらする努力」がもっと大切なんだと和田投手は教えてくれています。「考えながらする努力ってなに？」、そのことをまず考えてみるのがはじめの一歩ではないでしょうか。『2つの目標（私は～をしたい目標1＞、そのために～をやる目標2＞）を明確にもつこと。「いつまでに」、「何を」、「どのように」の2W1Hを具体的にもつこと。そして、決めたことは継続すること』、このことに果敢にチャレンジするみんなであってほしいと思います。今日から学校がはじまります。一緒に進んでいきましょう！